



蒼井優 竹内結子 松原智恵子 山崎努 『湯を沸かすほどの熱い愛』の監督が贈る新たな愛の感動作



[STORY] 父の70歳の誕生日。久しぶりに帰省した娘たちに母から告げられたのは、厳格な父が認知症になったという事実だった。それぞれの人生の岐路に立たされている姉妹は、思いもよらない出来事の連続に驚きながらも、変わらない父の愛情に気付き前に進んでいく。ゆっくり記憶を失っていく父との7年間の末に、家族が選んだ新しい未来とは—。

近い将来65歳以上の1/5が発症するという(出典:厚生労働省)今や他人ごとではない認知症。父の発症により、自分自身の人生と向き合う事になる家族の7年間を、あたたかな眼差しをもって優しさとユーモアたっぷりに描いた本作。刻々と変化する時代に変わることのない大切なものを問う、昭和、平成、そして新しい時代へと繋がれる希望に満ちた作品が誕生しました。

長女・麻里 (長女・麻里) 慣れない海外生活に加え、夫と息子との関係にも悩んでいる。



父・昇平 (父・昇平) 元・中学校校長。認知症を患い、ゆっくり



nagaiowakare.asmik-ace.co.jp
2019年 日本 フラーレンスター 5切 127分

長いお別れ

エグゼクティブプロデューサー:豊島聰也、プロデューサー:原幸志、井手千尋、共同プロデューサー:竹村洋輔、ヨシエイプロデューサー:小西順子
ライプルプロデューサー:山本礼一、撮影:月永基太、照明:谷本泰治、監督:安野正人、美術:丸尾和行、脚本:吉村昌尚、衣裳:小林玲和子、ヘアメイク:高木申二
音楽:道峰圭一、編集:伊藤潔樹、音楽プロデューサー:水田大介、キャラクターデザイン:キムスティングルプロデューサー:井上千尋、制作プロダクション:佐藤みなみ、制作会社:池上町子、助監督:酒井浩全
製作:アシスタントプロデューサー:栗原義典、製作会社:1853ラボ、テレビ製作:朝日放送、日本経済新聞社、BSテレ東、文藝春秋

